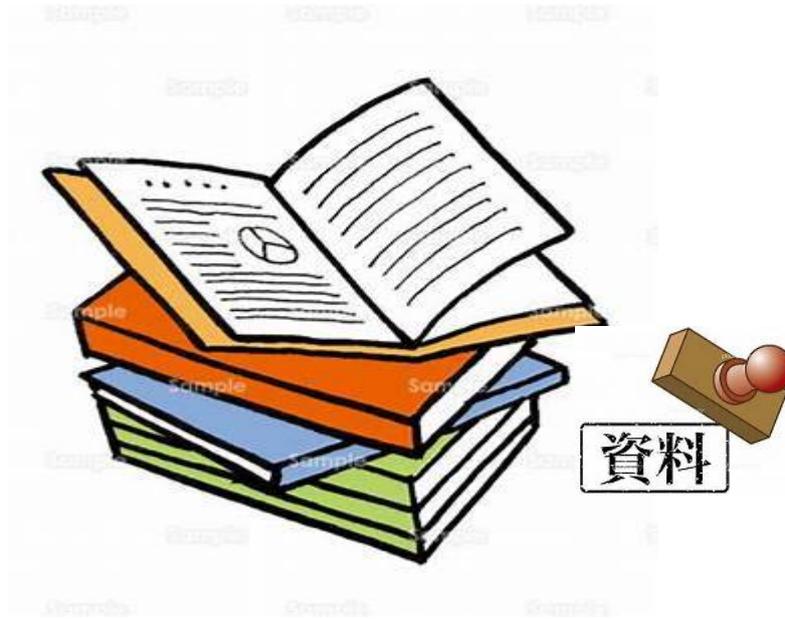


22 関係資料

この地域の関係資料を紹介



- (1) 地域誌(古文書) 松河戸関係分……………P496
- (2) 松河戸区資料(古文書)一覧 ……………P498

松河戸文化科学探求隊
隊長 長谷川 浩
080-3657-7052
松河戸町の沿革ホームページ
<http://matsukawado.com/>

(1) 地域誌(古文書) 松河戸関係分

松河戸関係部分については、「松河戸の沿革」の「関係資料ページ」から見る事が出来ます。

① 麒麟抄

全八巻から構成されており、書法や書論の秘伝が集約されている。

著者は不明で平安時代の書道家である藤原行成や空海が著したという説が有力視されていたため日本における現存最古の書論書とも言われていたが、近年の研究では否定されている。

② 塩尻

江戸中期の随筆。天野信景^{あまのさだかげ}（1663—1733）著

元禄 10 年(1697) ごろから享保 18 年(1733) に執筆され、原本は 1000 巻に及ぶともいう。

著者は尾張藩士で、博学の国学者として知られ、その合理主義的な学風は、吉見幸和^{よしみよしかず}ら当代の尾張の学者や文人はもちろん、平田篤胤^{あつたね}らにも大きく影響した。

本書は、有職故実^{ゆうそくこじつ}を中心に広範囲な分野にわたる和漢の典籍や自己の見聞を抄録してある。

③ 張州府志

宝暦 2 年(1752) 尾張徳川家 8 代徳川宗勝は、学者の松平君山と千村伯齋を責任者として尾張全域を調査し全 30 巻・付図 1 巻の「張州府志」を完成させた。

これが官選地誌の第 1 号といえる。

漢文で格調高く書かれている。

④ 張州雑志

尾張徳川家 9 代藩主・徳川宗睦の内命を受けて、正参が安永年間頃（1772 年 - 1780 年）から領内を調査して執筆したもの。

正参は狩野派の絵師として東甫の名で知られており、内容には多くの絵も含まれる。

正参が天明 8 年（1788）に没したため、協力していた赤林信定によって残された原稿などを元に全百巻本として編纂され、寛政元年（1789）に宗睦へと献上された。

広く公開されることはなく明治を迎え、その後は名古屋市蓬左文庫へと引き継がれている。

（尾張の内容が細密に記録されていたことにより「御秘本」扱いになったと考えられる）

⑤ 尾張志

天保 15 年（1844）に藩命によって編纂された尾張国の地誌

宝暦 2 年（1752）に完成した尾張藩最初の藩撰地誌『張州府志』をもとに、再調査を行って改撰、和文で著された。

名古屋城下、熱田、各郡別に、境域沿革、郷村、人物、物産、神社、寺院、名所、旧跡などを挙げる。

藩校明倫堂の督学をつとめ、当時書物奉行であった深田正韶が監修し、尾張藩士岡田啓、中尾義稲らが執筆、付図を小田切春江が担当した。

原本は蓬左文庫に所蔵されており、序巻を含めて全 61 巻、付図が 14 枚ある。

⑥ 寛文村々覚書 39 村

尾張藩では明暦年間(1655～1658 年)に村勢調査を着手したが、一部『美濃国尾州村々覚』が現存するのみで全容は解らず、寛文年間(1670 年前後)に編纂され現存する同書が尾張藩 一円の村勢を知る重要な書であり現在でいう国勢調査書の体をなす。

また近世初頭の尾張藩の歴史を知る上でも同書は重要な位置を占めている。

原本は尾張藩各郡別に『○○郡覚書帳』として作成されており、通常それらをまとめ『寛文村々覚書』と言われ、守山区分は春日井郡の部にまとめられている。

その他、同地方の郷土史を知る上で重要な地誌として、尾張藩士樋口好古が著した『尾張徇行記』があるが、石高などは『寛文村々覚書』元としている。

⑦ 尾張徇行記(尾州徇行記)

尾張藩士樋口好古が藩の官吏として藩の管轄地を巡行し、また資料を渉獵して、文政 5 年(1822 年)まとめた『郡村徇行記』。

樋口好古は尾張藩に仕えた農政家であったが、彼が尾張国内や美濃国・近江国の尾張藩領などを巡検した際の記録で、村の沿革や隣村との境界、人口、租税額、寺社の除税地、河川・水路・橋梁などを、寛政 4 年(1792 年)春から文政 5 年(1822 年)5 月まで、31 年に渡って記した。

⑧ 尾張名所図会

尾張藩士で学者の岡田文園と、春日井郡枇杷島にあって枇杷島橋の橋守役を務めていた野口市兵衛家の 8 代目・野口梅居とが著し、尾張藩士で画家の小田切春江や春江の師に当たる森高雅が挿絵を描いたもので、尾張国八郡の名所が描かれた全 13 巻

天保 9 年(1838 年)から天保 12 年まで約 3 年をかけて執筆され、天保 15 年(1844 年)2 月に前編 7 巻が刊行された

⑨ 張国地名考(尾張地名考)

江戸時代、尾張国海東郡(現・愛西市)の学者・津田正生によって著された尾張国の地名についての地誌

文化 4 年(1807)執筆を始め、文化 13 年(1816)完成する。

⑩ 東春日井郡地誌

(2) 松河戸地区資料(古文書)一覧

明治～昭和30年代 主なもの 整理中

※ 原本は区会に保存してあります。

区分	帳簿	機関	作成年	作成年
				内容
村(役員) のメモ帳	村方下用帳			元治2年正月(1965)、明治5年正月、明治9年9月
	申年下用集帳			明治5年
	村費日記帳			明治24年
	東堤人足覚帳			明治4年6月、明治4年8月、明治25年(24年の濃尾地震関係)
	上条塚組人足帳簿			明治39年
	河戸杵人足帳			明治9年
	松河戸重租目録			明治元年頃
収支決算 関係	金銭渡帳	東春日井郡松河戸村	明治19年	
	戸長役場費取立帳	東春日井郡松河戸村	明治18年夏第2期	
	収納簿	東春日井郡松河戸村	明治20年	
	営業 般車 人名簿	東春日井郡松河戸村	明治17年8月	
	村方酒御通帳	東春日井郡松河戸村	明治15年	
	諸費上記帳	東春日井郡松河戸村	明治19年	
	村費記載簿	東春日井郡松河戸村	明治21年	
	萬富座記簿	東春日井郡小野村大字松河戸	明治34年	
	各島収納帳		明治16年	
	協議費細個帳			昭和25、26、27、28、29、30、31、34、36、
	協議費収納帳(簿)			明治11、14、26、27、昭和10
	協議費明細帳 調簿			明治11、21、24、27、28、31、37、40、42、大正10、11、13、 昭和12、13、25、26、27、28、29、30、31、34、36
	区費徴収原簿			昭和28、31、34、35、
	収支決算書			昭和31～
村方諸入費帳			明治15、16、21	
諸入費戸数割明細帳			明治17	
小役支佛帳		昭和10年		
地租改正 関係	再地券入費帳		明治8年4月	
	地租改正地引野帳		明治8年11月、明治18年安賀	
	字村中継横調簿		明治8年11月	

Ⅳ その他資料

22 関係資料

区分	帳簿	機関	作成年	作成年
				内容
耕地整理 関係	土地各筆調	鳥居松村耕地整理組合 松河戸工区	大正3~12	(各筆別) 氏名、地目、地積、畦畔、賃貸買格、筆数、賃貸価格
	土地名寄調	鳥居松村耕地整理組合 松河戸工区		(所有者別) 字、地番、地目、地積、畦畔、賃貸買格、等位 年貢割り付けの基礎として作成
農地改革 関係	耕地所有耕作者基帳	松河戸農地事務所	昭和22年3月	(場所別一覽) 字、地番、地目、地積、畦畔、賃貸買格、地主、小作、等位
	自作農創設特別処置法第17条の規定による農地買受申込書		昭和22~25年	
	農地買受申込書 買収控書綴り		昭和23年	現耕作者からの農地買受申込書
	解放農地契約書	区長→農業委員会、解放農地者・農地買受者	昭和35年8月13日	
堤外地関 係	堤外口数簿		昭和2年	堤外の救済 1口
	堤外地固定資産税賦課全原簿	区		昭和25、26、27、28、35、32、
	堤外地賦課金原簿			昭和18、19、25、26、28、35
道路関係	道路・溝 敷地名寄帳			昭和31、32
	道敷各線 支払 徴収 控簿	松河戸区長	道路に使用する敷地	昭和39、
	松河戸道敷各線控	松河戸区長		昭和27、28、29
	見取溝敷覚帳簿		明治36年9月7日	昭和36
その他	第二次単県舗装整備費寄付金	市→松河戸区長	昭和35年12月17日	(県道松河戸西枇杷島線の舗装工事)
	農村振興土木事業申請書	松河戸区長→鳥居松村長→知事	昭和7年9月6日	
	土地改良事業補助金	市→松河戸区長	昭和35年9月12日	(灌漑施設、用水路修繕工事)
	富士特殊紙業(株)排水による	市農政課→松河戸区長	昭和44年1月17日	
	道路一時使用許可願	区長→春日井市警察署長	昭和35年7月1日	馬の塔奉納
	土地寄付願	該当個人→鳥居松村長	大正13年10月	町村道新設用地として国へ寄付 停車場行き道路建設
	該当者へ寄付(譲渡)すべきお	松河戸区長→街頭個人	大正13年	町村道新設用地として国へ寄付 停車場行き道路建設
	灌漑施設の整備 用水路修繕工事		昭和35年	6300円 補助3150円
	松河戸道敷各線控		昭和27、28	
	旧墓地譲渡に関する関係(区画整理)		昭和61年1月18日	同意書
松川橋工事関係				
学校関係	授業料取立簿(松河戸村分)		明治22年度	
	授業料取立簿(小野村大字松河戸分)		明治23年度	
	出納帳 教育費補助費		明治22年度 前半期、後半期 脅威補助費	
	学校関係書類		昭和39年度	

区分	帳簿	機関	作成年	作成年
				内容
改良米関係	改良米集納帳		明治30年、39年	
	改良米会計帳		明治39年	
	改良米動定帳		明治40年	
	改良毎費収納帳		明治41年	
弘法講関係	弘法堂建設寄付台帳 発起人 弘法講一同		昭和51年8月	
	弘法講月掛集金帳		昭和13年3月	
	伊勢大神宮米記		明治31年	
白山神社関係 (区で持っている分)	祈年祭費		昭和19年頃	昭和18、19、20
	例祭費		昭和19年頃	昭和18、19、20
	新嘗祭		昭和19年頃	昭和18、19、20
	祇園祭費		昭和19年頃	昭和18、19、20
	堤外地定米収納帳 白山神社			昭和13、23、24、30、31、32、33、34、35
	本殿上棟敷収支明細簿		昭和15年	
	神社費帳			昭和14、15、16、17、18
	白山神社基本財産収支決算書	11年まで知事に提出、12年から鳥居松村長	昭和8年～	昭和8～21
神社地、堤外畑 掬米収納簿			昭和13、14、15、16、19、20、23、24、29、32、36	
企業への土地売却	特別会計簿		昭和32、33	工場誘致関係
	旭木工株式会社		昭和36年6月	
	日本舗道株式会社		昭和33年	
	日本合同トラック		昭和36年4月	
	古川電機		昭和36年4月	
	古川電機		昭和33年5月	誘致 特別会計簿
	日本合同トラック		昭和36年4月	
	鈴木精密株式会社		昭和35年9月	
	鈴木精密株式会社		昭和35年11月	
	愛知電機		昭和32年	
渡邊産業		昭和34年11月		

